

令和2年度 事業報告

1 会費収納状況

令和2年度分の会費として、会員事業所8,782社、総額48,348,200円の請求を行ったところ、納付された事業所は8,146社、収納額は45,347,520円（収納率93.8%）です。

2 会 議

(1) 理事会・評議員会の開催

① 令和2年6月に開催予定の理事会並びに評議員会は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため書面決議により開催し、令和元年度事業実施結果、一般会計・公益事業会計決算及び評議員・理事・監事の選任について審議が行われ、了承されました。

② 令和2年11月11日、理事会を開催し、令和2年度中間における事業報告及び収支状況について審議が行われ、了承されました。

③ 令和3年3月開催予定であった理事会並びに評議員会は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため書面決議により開催し、令和3年度事業計画(案)及び一般会計予算(案)について審議が行われ、了承されました。

(2) 諸会議

① 令和2年7月に開催予定の社会保険協会地区別会議（東北・北海道）は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止となりました。

② 令和2年9月18日、支部事務局長会議を開催し、事業の進捗状況及び下期事業等について打合せを行いました。

③ 令和2年10月27日及び令和3年2月17日、山形年金事務所並びに全国健康保険協会山形支部と三者連絡協議会を開催し、協会事業における連携に関し意見交換を行いました。

- ④ 令和3年2月19日、支部事務局長会議を開催し、令和3年度の事業計画及び収支予算等について打合せを行いました。

3 社会保険制度の普及指導に関する事業

(1) 広報活動

- ① 広報誌「社会保険やまがた」を隔月（奇数月）に各10,000部発行し、会員事業所へ送付したほか、年金事務所及び全国健康保険協会山形支部の窓口等に備えて、社会保険制度の普及啓蒙を図りました。
- ② 全国社会保険協会連合会発行「月刊社会保険」を役員（支部役員を含む）及び各地区社会保険委員会役員に送付し、迅速な情報提供に努めました。
- ③ 「実務に役立つ社会保険の事務手続き」（社会保険研究所発行）の冊子を購入し、各地区社会保険委員会の会員に配布し、社会保険関係事務の円滑な推進に努めました。
- ④ ホームページ並びにメールマガジンにより、最新情報を随時更新し、社会保険制度の普及啓蒙を図り、併せて協会の事業目的や事業内容等の周知に努めました。

(2) 会員拡大活動

令和元年9月1日以降新たに社会保険に加入した事業所（388社）を対象に、「山形県社会保険協会への入会のご案内」と「山形県社会保険協会事業案内」等を送付し、加入勧奨を行い、会員拡大を図りました。

加えて、被保険者11～20人規模の事業所等（430社）を対象にした加入勧奨を行いました。

○ 新たに協会に加入した事業所 62社（前年度比 +13社）

(3) 社会保険事務講習会の開催

年金事務所、全国健康保険協会山形支部及び山形労働局の協力を得て、社会保険制度（公的年金・健康保険・雇用保険）の周知及び正確な事務処理手続き

等の情報提供のため、事業所の社会保険事務担当者を対象に事務講習会を開催しました。参加者に「社会保険実務の手引き」（サンライフ企画発行）を配布しました。

研修内容は、健康保険協会山形支部から「健康保険の事務手続き」、年金事務所から「社会保険の適用事務手続き」、公共職業安定所から「雇用保険の事務手続き」等です。

なお、各会場ともマスクの着用や参加人数の限定など新型コロナの感染対策を講じたうえで開催しました。

	開催地区	開催日	開催場所	参加人数
1	山形	令和2年11月6日(金)	山形市	49名
2	庄内	令和2年10月7日(水)	庄内町	57名
3	置賜	令和2年10月16日(金)	米沢市	35名
4	新庄	令和2年10月15日(木)	新庄市	13名
5	寒河江	令和2年10月20日(火)	寒河江市	19名
		合計		173名

(4) 年金説明会の開催

年金事務所と山形県年金協会連合会の協力を得て、「年金制度の概要」や「年金請求に当たっての留意事項」、「退職後における健康保険加入」等の説明会を実施しました。

各会場ともマスクの着用や参加人数の限定など新型コロナの感染対策を講じたうえで開催しました。山形地区の一回目と新庄地区については、感染状況を勘案し、中止としました。

	開催地区	開催日	開催場所	参加人数
1	山形	令和2年9月12日(土)	山形市	中止
2		令和3年2月13日(土)	山形市	45名
3	庄内	令和2年11月15日(日)	酒田市	30名
4		令和2年11月21日(土)	鶴岡市	27名
5	置賜	令和2年9月26日(土)	米沢市	42名

6		令和2年10月25日(日)	長井市	17名
7	新庄	令和2年9月5日(土)	新庄市	中止
8	寒河江	令和2年9月26日(土)	寒河江市	18名
9		令和2年10月31日(土)	東根市	16名
		合計		195名

(5) 社会保険委員会との連携協力

社会保険事業の円滑な推進を図るため、社会保険委員会連合会及び各地区社会保険委員会と連携を密にし、研修資料代や会場借上費等の経費を助成し、社会保険委員会の事業運営に協力しました。

4 健康保持増進に関する事業

(1) 指定施設利用の助成

被保険者及び被扶養者の健康増進を図るため、指定施設利用補助事業として、県内外の宿泊52施設(県外2施設)及び日帰り施設として21施設と契約を締結し、会員の利用に際し補助券を発行しました。

日帰り用の補助券の交付枚数が大幅に増えました。これは令和2年度において1事業所当たりの発行上限枚数を見直したことが大きな要因です。

○ 利用補助券交付状況

【宿泊用】(加入者2,000円 被扶養者1,000円)

140社 325枚(本人230枚,被扶養者95枚)(前年度比△86枚)

【日帰り用】(加入者500円)

529社 4,714枚 (前年度比 +77社 +1,579枚)

(2) 人間ドック費用の助成

健康保持増進のために、被保険者及び被扶養者の方が人間ドック等を受診した場合、申請により費用の一部を助成しました(県内9健診機関と契約)。

○ 助成承認事業所 204社 承認者752名 (前年度比△2社 +24名)

(3) 家庭常備薬等の斡旋

被保険者とご家族の病気・けが等の初期症状の緩和や応急手当等ために、9

月発行の「社会保険やまがた」にチラシを同封し、家庭常備薬等の斡旋を行いました。

○ 申込件数 472件 8,081点 (前年度比 +106件 +2,478点)

(4) 職場の健康づくり講習会等の開催

健康づくり講習会の開催を希望する事業所へ講師派遣等を実施しました。

- ① 産業カウンセラーによるメンタルヘルス講習会 2社 25名参加
- ② 保健体育専門家による講習会 3社 88名参加
- ③ 管理栄養士による講習会 1社 17名参加
- ④ 専門家によるヨーガ・エアロビ 3社 37名参加
- ⑤ D V D 貸 出 4社 46名参加

合 計 13社 213名参加

(前年度比 △12社 △468名)

(5) ゴルフ大会・トレッキング・第77回健康づくり山形県卓球大会の開催

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止としました。

(6) 施設利用会員証の発行(平成29年度より開始の全社連事業)

会員限定の優待事業として、県内及び県外の施設と優待利用契約を締結し、健康保持増進に努めました。

【令和2年度発行枚数】 131社 424枚

【累計発行枚数】 716社 2,078枚

【県内の契約施設】16か所

○ 人間ドック

・山形健康管理センター

○ カルチャー・スポーツクラブ

・やまがたカルチャー&健康スポーツセンター

・スポーツクラブジョイフィット(山形あかねヶ丘店・東根店)

・ウィーススポーツクラブ新庄

○ 宿泊

- ・山形グランドホテル ・山形国際ホテル ・東京第一ホテル米沢
- ・ホテルリッチ&ガーデン酒田 ・ニューグランドホテル（新庄市）

○ レジャー

- ・米沢ボウリングレーンズ ・新庄アーデンゴルフ倶楽部

○ ショッピング

- ・晩菊本舗三奥屋エスパル山形店
- ・宝石の柿崎（新庄本店・山形店・鶴岡店）

【県外の契約施設】 258 か所

- ・船員保険会（4 か所） ・ホテル法華クラブ（19 か所）
- ・高輪品川プリンスホテルグループ（4 か所） ・かんぽの宿（35 か所）
- ・プリンスホテル優待プラン（84 か所） ・湯快リゾート（株）（29 か所）
- ・ダイワロイヤルホテル（27 か所） ・HMI ホテルグループ（42 か所）
- ・日帰り施設、ゴルフ場、スキー場（14 か所）

5 諸事業に対する支援

（1）各地区社会保険委員会の活動に対して、支援、後援等を行いました。

- ① 年金委員・健康保険委員厚生労働大臣表彰等にかかる支援
- ② 地区（支部）社会保険委員会研修会、講習会

（2）県内の年金事務所が実施している「年金ポスターコンクール」を後援するとともに優秀作品に「山形県社会保険協会長賞」を授与しました。

○協会長賞受賞者

飯豊町立飯豊中学校

すかの ゆずき
菅野 柚季 さん

